

2024. 02. 27

No.052

1月23日東地申第26号

「2023年度営業関係施策（その2）」についての申し入れ  
【柏営業統括センター（我孫子駅）】団体交渉！ その3

3. 我孫子駅出札窓口閉鎖に伴い柏駅出札窓口の混雑が予想されることから柏駅出札窓口を常時3窓にすること。

回答：現時点において柏駅出札窓口を常時3窓にする考えはないが、引き続き状況は見極めていく考えである。

5. 柏駅出札窓口は定時に閉められないのが現状だが、我孫子駅出札窓口閉鎖に伴い悪化が予想されることから対策を具体的に示すこと。

回答：我孫子駅の話せる指定席券売機導入により、オペレーターによる営業終了時間が現行のみどりの窓口の営業終了時間より長くなることから、柏駅のみどりの窓口の閉店時間に影響は出ないと考えているが、引き続き状況は把握していく考えである。

組合：柏の出札窓口は常時3窓にすべきと考えるが、会社の認識は。

会社：現時点でその認識はない。春の多売期は3窓で運営すると連絡を受けている。昨年1年間は著しく波があった。状況の変化やデータは見ていく。

組合：施策実施のタイミングで柏の体制を整えるべきだ。

会社：まずは我孫子のアシストマルスの懲慥を行う。柏の3窓は選択肢の一つ。大きな変化があれば対応について現場と協議していく。

組合：3窓開ける体制の指標は。

会社：多売の状況を見つつ、勉強会でも周知を行い勤務指定している。現時点で、3月29日～4月9日に3窓で運営する時間を設ける予定だ。首都圏本部や他箇所からの応援も検討している。今後も様々な多売期に向けて、3窓目の運用を選択肢の一つとする。

組合：柔軟に3窓開けるべきである。

会社：箇所の考え方は、社員に開ける日を明示して開けると聞いている。

組合：前回の施策で、3窓は現場判断と回答されているが、変わりはないか。柏はこれまでの多売期で3窓目を開けてこなかったのは、なぜなのか。

会社：現時点での箇所の考えは、開ける日を明示してから勤務指定。流動が読みづらく首都圏本部からのアプローチも弱かったと反省している。